

令和 8 年度

徳島県学力ステップアップテストを
活用した学習指導について（中学校数学）



令和 8 年 4 月

令和 8 年度
中学校第 2 学年
数 学

注 意

- 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 先生の指示があってから、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 問題は、1 ページから 14 ページまであります。
- 式や答えなどは、全て解答用紙の所定の欄に、はっきりと書いてください。
- 解答は、できるだけ簡単な形で表してください。
- 問題用紙のあいている場所は、自由に使用してもかまいません。

組	出席番号	氏 名

令和 8 年 4 月

令和 8 年度中学校第 2 学年数学問題構成表

問題番号	大問	小問	通し番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習態度に
(1)	1	1	1	数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	○				○		
				一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる	○				○		
				角の二等分線の作図が図形の相似性を基に行われていることを理解しているかどうかをみる		○			○		
				関数の意味を理解しているかどうかをみる			○		○		
				範囲の意味を理解しているかどうかをみる				○	○		
(2)	2	2	2	反対の方向や性質を数で表すことができるかどうかをみる	○				○		
				正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解しているかどうかをみる	○				○		
				基準を用いた平均の求め方を記述することができるかどうかをみる	○					○	
				円柱が回転体としてどのように構成されているかを理解しているかどうかをみる		○			○		
(3)	3	3	3	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる		○			○		
				円柱の表面積を求めることができるかどうかをみる		○			○		
				問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる		○			○		
				事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる		○				○	
(4)	4	4	4	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる			○		○		
				事象を理想化・単純化することで表された図解のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる			○		○		
				事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			○			○	
				度数分布表から中央値の含まれる階級を読み取ることをすることができるかどうかをみる				○	○		
(5)	5	5	5	度数分布表から相対度数を求める式をつくることができるかどうかをみる					○	○	
				問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる				○		○	
				データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				○		○	

令和8年度徳島県学力ステップアップテスト結果（県平均）

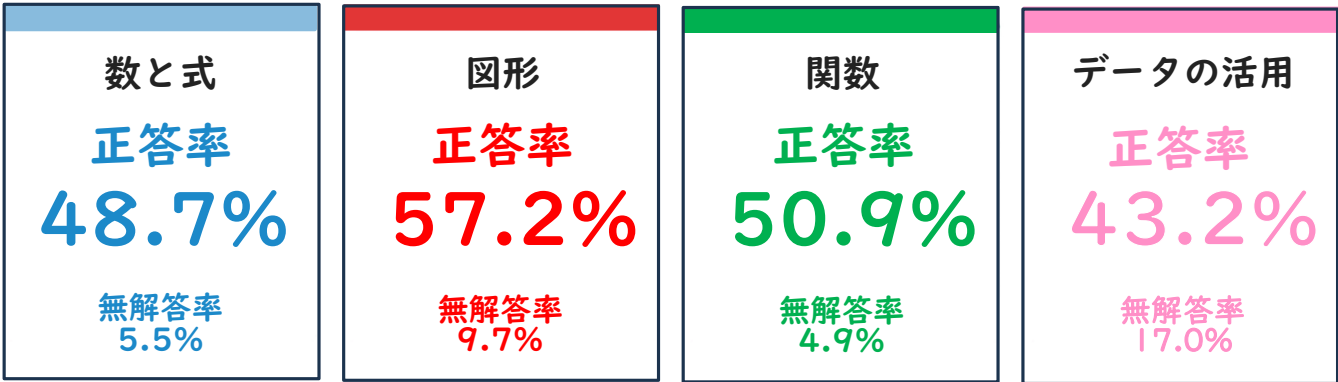
正答率

50.3%

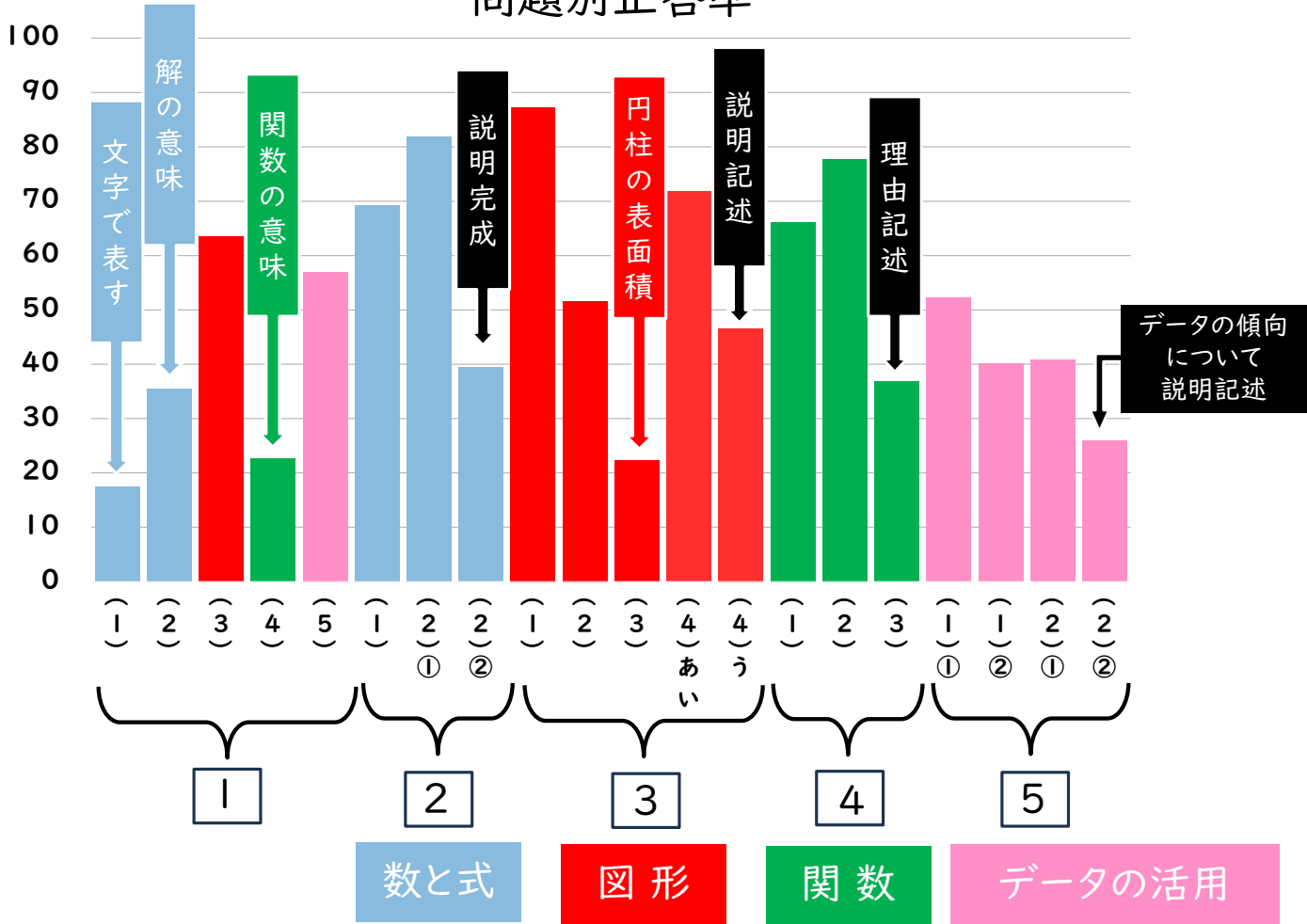
無解答率

9.5%

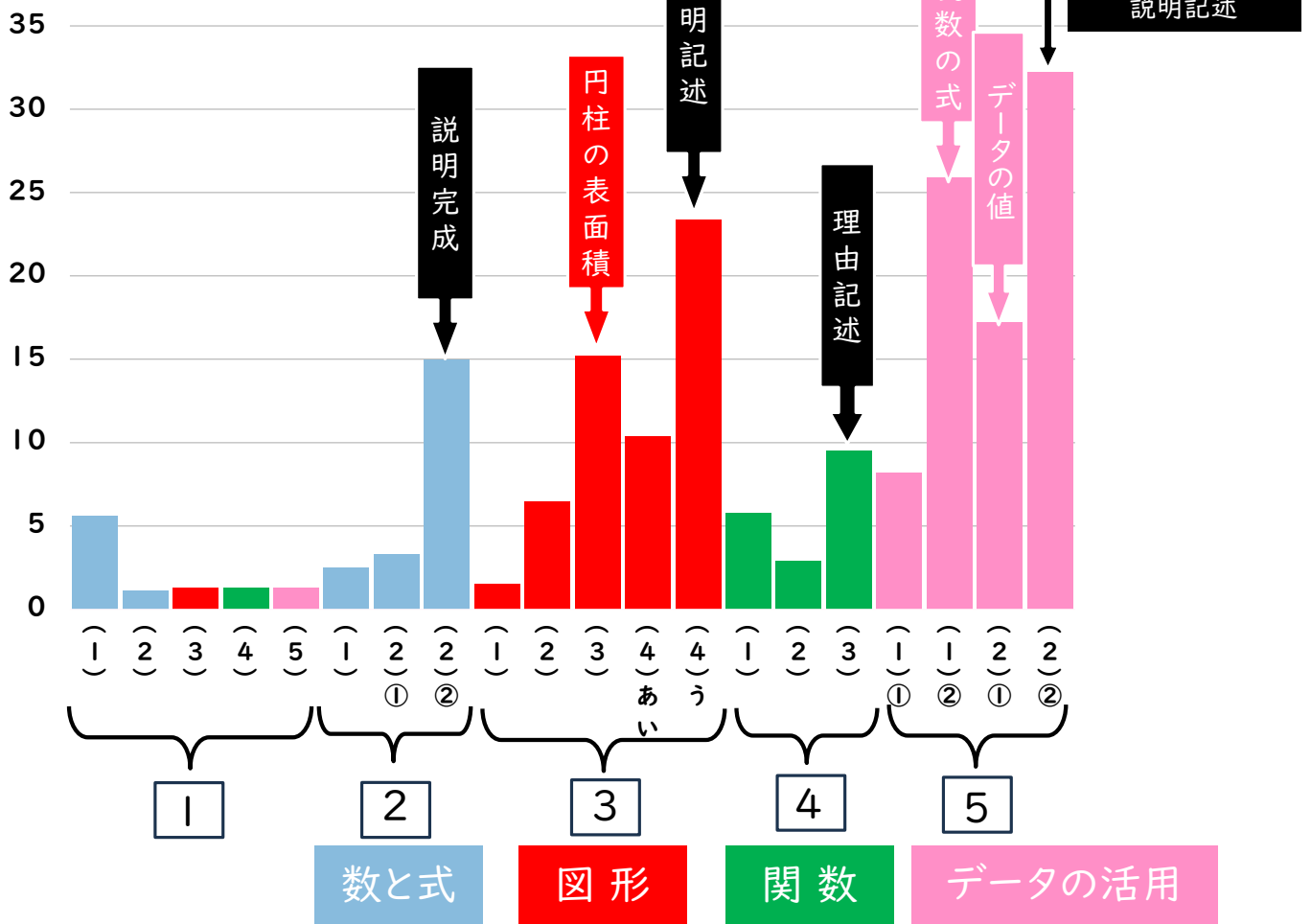
4つの領域における正答率と無解答率



問題別正答率



無解答率



成果

(1) 右の図1は、買ってきた丸太を円柱として表した見取図です。円柱は、ある平面図形を、その平面上の直線のまわりに1回転させてできる立体とみることができます。直線 l を回転の軸として1回転させると、円柱になるものを、次のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

図1



正答率
87.3%

円柱が回転体としてどのように構成されているかということは、理解している

成果

(2) 表2は、表1を記録した週から、1か月後の記録です。1分間の入力文字数を、60文字を基準として、入力文字数が基準よりも多い場合は正の数、少ない場合は負の数を使って、入力文字数と基準との違いを表しました。あとの①・②の各問いに答えなさい。

表2

曜 日	月	火	水	木	金	土	日
基準との違い(文字)	-7	0	-1	+6	-2	+8	+3

① 表2において、最も多い入力文字数と最も少ない入力文字数の差を求めなさい。

正答率

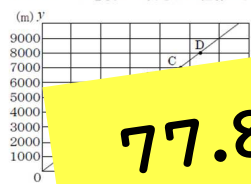
81.9%

タイピングの記録を基準との違いで表すような具体的な状況設定があれば、数学的な概念を適切に活用できる。

成果

(2) ななみさんは、かなた選手の記録のグラフを見て、点Aから点Dまでの各点が一直線上にあると考えたことにしました。そこで、コンピュータを使って、次のような直線に表したところ、 x と y の関係を表す式は、 $y = 300x$ と表されました。

コンピュータを使って表された直線のグラフ



77.8%

グラフが直線に表されていることは、かなた選手について

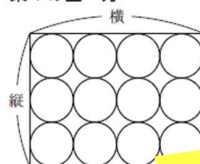
が一定であると考えたことになります。

上の□に当てはまる言葉として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びなさい。

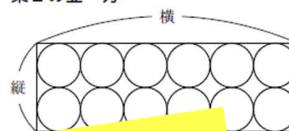
- ア かなた選手のスタートする時間
- イ かなた選手の走る道のり
- ウ かなた選手の走る速さ
- エ かなた選手の走る時間

事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる

案1の並べ方



案2の並べ方

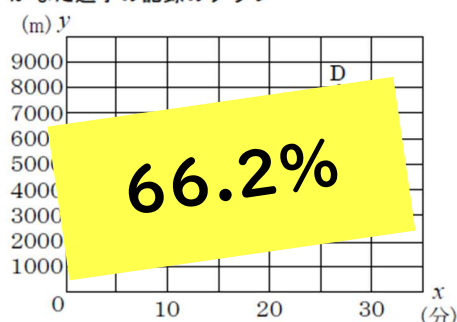


けいとさん「案1の並べ方のとき、縦の長さは□あ□cm、横の長さは□い□cmだから、長方形の周の長さは84cmですね。」

71.8%

問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる

かなた選手の記録のグラフ



66.2%

(1) かなた選手の記録のグラフにおいて、点Bの座標を書きなさい。

与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる

課題

- (1) ある中学校の生徒 300 人のうち、 a %の生徒が自転車通学をしています。
この中学校の自転車通学をしている生徒の人数は何人か、 a を用いた式で表しなさい。

正答率
17.4%

文字を用いて式に表現することに課題がある。

- (3) モルックを長持ちさせるために、モルックの全面にニス^ぬを塗ることにしました。モルックを、直径 6cm、高さ 22.5cm の円柱として考えます。この円柱の表面積を求めなさい。ただし、円周率は π とします。

正答率
22.3%

解決までの見通しをもち、処理していくことに課題がある。（立体を展開図で表す→側面の横の長さを求める→側面・底面の面積を求める→合計する）

課題

- (4) 次のアからオまでの中から、 y が x の関数であるものをすべて選びなさい。

- ア 正の数 x の逆数 y
イ 自然数 x の約数 y
ウ 周の長さが x cm の正方形の面積 y cm²
エ x 歳の人がハンドボールを投げたときの記録 y m
オ 1 個 90 円の消しゴムを x 個買ったときの代金 y 円

正答率
22.6%

関数についての概念理解に課題がある。

7 月・8 月の最高気温の度数分布表

最高気温(℃)	1975 年	2025 年
	度数(日)	度数(日)
以上 未満 25.0 ~ 27.5	6	0
27.5 ~ 30.0	21	4
30.0 ~ 32.5	28	4
32.5 ~ 35.0	7	43
35.0 ~ 37.5	0	11
合計	62	62

気象庁ウェブサイトより作成

正答率
40.1%

無解答率
25.9%

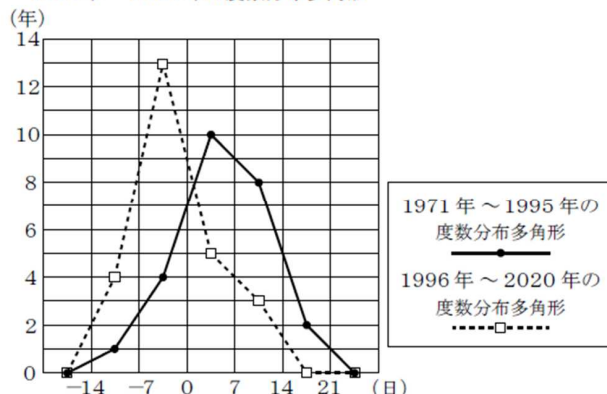
- ② 7 月・8 月の最高気温の度数分布表において、2025 年の最高気温が 35℃以上になった日の相対度数を求めます。その相対度数を求める式を書きなさい。ただし、実際に相対度数を求める必要はありません。

相対度数についての概念理解に課題がある。

課題

② 基準日との差の度数分布表をもとに、横軸を基準日との差、縦軸を度数として、次の度数分布多角形（度数折れ線）に表しました。

1971年～1995年の度数分布多角形と
1996年～2020年の度数分布多角形



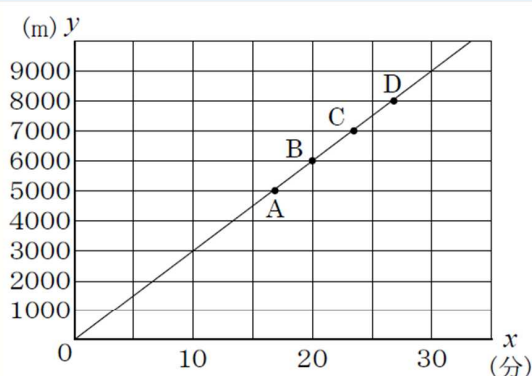
上の2つの度数分布多角形から「1996年～2020年のあぶらぜみの初鳴日は、1971年～1995年のあぶらぜみの初鳴日より早くまっている傾向にある」と主張することができます。このように主張することができる理由を、2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

正答率
25.9%

無解答率
32.2%

2つの度数分布多角形の特徴を比較して数学的に説明することに課題がある。

課題



(3) この大会の歴代最速記録である34分00秒を、かなた選手が更新することができるかどうかを予想します。次のア・イのどちらかを選び、そのように考えた理由を書きなさい。

- ア 更新することができる。
イ 更新することができない。

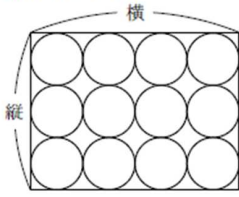
正答率
36.8%

無解答率
9.5%

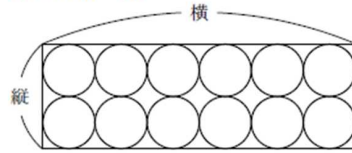
数学的な根拠に基づいて自分の考えを説明・記述することに課題がある。

課題

案1の並べ方



案2の並べ方



けいとさん 「案1の並べ方と案2の並べ方、どちらも底面の面積は同じなので、使う材料は同じですね。」

みつるさん 「底面の面積が同じでも、側面も作るの、側面についても考えないといけません。」

けいとさん 「そうですね。それぞれの長方形の周の長さを求めて、比べてみましょう。案1の並べ方のとき、縦の長さは cm、横の長さは cmだから、長方形の周の長さは84 cmですね。」

みつるさん 「同じように考えると、案2の並べ方のとき、
。」

・に当てはまる数をそれぞれ書き、には、案2の並べ方のときの長方形の周の長さを求め、案1の並べ方・案2の並べ方のどちらの並べ方が材料が少なくなるかについての説明を書きなさい。

正答率

46.6%

無解答率

23.4%

図形の周の長さの違いなどを言葉や式で論理的に説明することに課題がある。

課題

知識・技能

用語の意味の理解に課題がある。

概念の理解に課題がある。

思考・判断・表現

数学的な根拠に基づき、説明・記述することに課題がある。

教師が解き方をわかりやすく教える授業では・・・

生徒の授業に臨む意識は？



考えることより覚えることに重点を置いていないか？

意味を理解せずに解き方を覚える



悪循環



意味を理解していないから
学んだことを活用できない



新しい課題の解決方法を見いだすことができない

新規の問題の解決に既習事項が活用できない

生徒が気付き、考え、表現する授業づくりへ

知識・技能



用語の意味・概念を正しく理解するために

- 図示による視覚化
- 既習事項や他の言葉との関連付け
- 誤用や誤答から再確認
- 用語を活用した説明活動

知識・技能

思考・判断・表現

生徒の思考を引き出す発問・問い返し

発問の工夫(例)

既習の知識・技能を確認

今までに学習したことを使えませんか？

思考の範囲を広げる

〇〇の場合も成り立ちますか？

問題を焦点化

これまでの学習とどこが違いますか？
何がわかればいいのですか？

めあてにつなげる

何について考えたい・調べたいですか？

解決の根拠を問う

どうしてそう考えたのですか？

ゆさぶりをかける

本当に正しいですか？

思考・判断・表現



日頃から考えの過程を書く、話す習慣



表現する場面設定



共有する場面、比較・検討する場面設定



数学的な表現を用いた説明をする場面設定

1

考え方や理由の言語化（口頭・短い記述）

正解を書くだけでなく、「どう考えたか」「なぜそうなるのか」というプロセスを言葉にさせる。

2

図や根拠と関連付けた記述

数値や式だけでなく、それらが「図のどこを指しているのか」「問題文のどこに書いてある根拠なのか」を明示させる。

3

不完全な説明の修正・補完

あえて提示された「不完全な説明」や「未完成の説明」を読み、不足している要素を書き足させたり、誤りを修正させたりする。

4

モデルとなる説明の活用と書き換え

正しい証明や説明を読み、その方針を理解させた上で、条件が少し変わった類似の問題に対して、元の説明をベースに書き換えさせる。

5

他者への伝わりやすさを意識した推敲

自分の記述に対し、「なぜそういえるのか」「他の人に伝わるか」という問い返しを行い、根拠を明らかにした記述へと洗練させる。

全国学力・学習状況調査に出題されている記述式

説明する問題①（全国学力・学習状況調査解説資料より）

事柄・事実の説明（見いだした事柄や事実を説明する問題）

「〇〇は、◇◇になる。」のような形で、「前提（〇〇）」と、それによって説明される「結論（◇◇）」の両方を記述する。

説明する問題②（全国学力・学習状況調査解説資料より）

方法・手順の説明（事柄を調べる方法や手順を説明する問題）

「用いるもの」（表、式、グラフ）を明確にした上で、その「用い方」（ y 座標がある値となるときの x 座標の値を読み取るなど）を記述する。

全国学力・学習状況調査出に題されている記述式

説明する問題③（全国学力・学習状況調査解説資料より）

理由の説明（事柄が成り立つ理由を説明する問題）

「〇〇であるから、△△である。」のような形で、「根拠（〇〇）」と、「成り立つ事柄（△△）」の両方を記述する。

説明する問題③-1（全国学力・学習状況調査解説資料より）

示された説明すべき事柄の根拠を記述する形式

説明する問題③-2（全国学力・学習状況調査解説資料より）

説明すべき事柄を判断し、その根拠と成り立つ事柄を記述する形式

振り返りについて

1. 学習内容の確実な定着とメタ認知能力の育成

授業で学んだことを「なんとなく」で終わらせず、
「自分は何を理解し、何がまだ分からないのか」を客観的に把握することに大きな意義がある。

2. 自己成長の可視化

振り返りを記録し続けることで、
「以前はできなかったことが、今はできるようになった」という変化を可視化できる。

3. 授業改善へのフィードバック

「今日の授業の内容がどのくらい伝わったか」を確認するための貴重なデータとなる。
クラス全体の理解度や、個別の支援が必要な生徒を瞬時に見取ることができ、翌日以降の指導計画の修正（授業改善）に生かすことができる。

振り返りの項目（例）

- **本時の内容の理解度**
その日の学習内容をどの程度理解できたか。
- **活用した知識・技能の明確化**
問題解決のために学んだ何（既習事項）を使ったか。
- **自己の変容や気づき**
学習を通じて自分がどう変わったか、何に気づいたか。
- **新たな疑問**
さらに考えてみたいことや、新しく沸いた疑問。
- **今後の課題**
今後克服したい部分や改善点。

教師が解き方を
わかりやすく教える授業



生徒が気づき、考え、
表現する授業へ

導入

教師が「めあて」を板書し、解法を提示する

生徒に疑問や不思議をもたせ、
解決の意欲を引き出す

解決

すぐにグループ活動や解説に入る

まず**個人で考える時間**を確保し、メタ認知を促す

共有

正解かどうかの確認が中心

「なぜそうなるか」を言語化し、
不完全な説明を修正・補完する

まとめ

解き方の手順を板書する

活用した知識・技能や、問題解決のポイントを明確にする

評価

正解か不正解かで判断する

思考のプロセスや**自力で進もうとする姿勢**を認める

ICTの活用例

1. 試行錯誤と推測

動的幾何学ソフトウェアを用いて、図形や関数のグラフを画面上で動かす活動を取り入れる。試行を容易に繰り返すことができ、静止画では気づきにくいことを見いだしやすくなる。

2. データ分析と批判的考察

データからヒストグラムや箱ひげ図を瞬時に作成させることで、生徒が計算や作図に時間を使うのではなく、「このデータからは何がいえるか」「異なる2つのデータの傾向はどう違うか」といった、結果の解釈や判断に時間を使うことができる。

3. 考えの可視化と共有

自分の思考プロセスを図・式・言葉などで表現し、他者と瞬時に共有・比較させる。他者の多様な考え方を読み解きながら、自分の考えを修正・洗練させ、より分かりやすく筋道立てて説明（表現）する。

令和8年度の重点

数 学	目指す子供の姿
	○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 ○数学を活用して事象を論理的に考察する力と数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりする態度を身に付けている。
	目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①授業において、 数学的な見方・考え方を働かせる機会を意図的に設け、数学的活動の充実を図る
◇導入では、問題を見いだす活動と解決の見通しをもつ活動を重視する。単に問題を与えて解かせるのではなく、生徒自らが問題を見いだす機会と「今までに習ったことで、使えそうなことはあるか？」など、既習内容を関連付けて、解決の見通しをもつ機会を設ける。
◇全体共有では、多様な思考を許容し、比較・検討の深化を図る。複数の考えについて、「どの考えが分かりやすいか」「なぜこの考えが最も効率的か」など、比較したり検討したりする機会を設ける。加えて、問題を解き終えた後、「もし条件を変えたら結果はどうなるか？」などと問いかけ、発展的な考察を促す。
◇振り返りでは、思考の言語化と汎用性の獲得ができるようにする。問題解決のためにどのような数量や関係に着目し、どのような考え方をしたのかということについて、具体的に言語化する機会を設ける。加えて、問題解決の過程で得られた知見や法則が、次の学習や身近な生活、社会の事象においてどのように活用できるかを考える機会を設け、学習内容の汎用性を意識することができるようにする。
②①の内容に併せて、「徳島版読解力」と「徳島ICT活用モデル」を活用する
◇「徳島版読解力」を踏まえ、数や式、表、グラフなどを用いて自分の考えを記述し説明する機会を単元内に計画的に設ける。
◇「徳島ICT活用モデル」に基づき、ICTを活用して多様な解法の共有やデータの収集・処理などを行うことができるようにし、数学的に考え表現する時間を十分に確保する。

学習ガイドの活用

徳島県立総合教育センター
Tokushima Prefectural General Education Center

センター概要 >> お知らせ 所長あいさつ 事業概要 沿革 コンセプト 施設予約 交通アクセス イベント情報他

各課等のページ >> **教職員支援 学校支援** 生涯学習 教職員研修講座 教職員研修形式ダウンロード 教育相談 特別支援 教育の情報化 リンクリスト 各種教育資料ダウンロード

積極的にサポート
学校・地域・社会を結びます

徳島県立総合教育センターの5つの機能

- 生涯学習支援機能
- 学校支援機能
- 特別支援・相談機能
- 教職員支援機能
- 教育情報化支援機能

【施設情報】
◆名称 徳島県立総合教育センター
◆住所 〒779-0108 徳島県板野郡板野町大伏字東谷1-7
◆Eメール sougoukyoukusenta@pref.tokushima.lg.jp

★ **県学力向上関係資料** ★

学力向上推進員研修会

- ◆令和7年度
- ◆令和6年度

指導と評価に関する参考資料 解説動画

徳島県学力向上確認プリント

- ◆小学校：4年 5年 6年
- ◆中学校：1年 2年

教員のための授業の手引き

- ◆学級経営ははじめの一步
- ◆とくしま 授業技術の基礎・基本

学習ガイド関係資料

- ◆小学校：国語 算数 理科 外国語
- ◆中学校：国語 数学 理科 英語

授業改善関係資料

- ◆各教科等の重点
- ◆徳島版読解力
- ◆国語力向上タスクフォースの提案

教職員支援 学校支援

教職員支援・学校支援

県学力向上関係資料

学力向上に関する資料を掲載しています。閲覧及びダウンロードができます。

カリキュラムサポートセンター

カリキュラムサポートセンターの公開されている学習指導案や教育資料について検索ができます。

教科等の指導に役立つ情報

各教科・科目等に関する資料や最新の学習指導案例等の情報を掲載しています。

要請訪問

要請や申請書等を掲載しています。また、特別支援学校の学校計画訪問、ICT活用指導力向上研修(受託訪問)についても掲載しています。

国際交流行事支援

理科関係イベント

お知らせ

県学力向上関係資料へは、下のバナーをクリックしてください

★ **県学力向上関係資料** ★

授業改善と学力向上に取り組んでいきましょう